

## ■手段を選ぼう■

ほぼ週刊【松村拓也のメルマガジン】第 542 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で「実現倶楽部」を中心に松村拓也の活動について、ほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

## 542 目次

### 1. 先週の報告

### 2. 今週のお誘い

### 3. 実現ブログより：手段を選ぼう

### 4. 居場所・連絡先

### 5. このメルマガについて

.....

### 1. 先週の報告

暑かった先週は、仕事ははかどりませんでしたが幾つか出会いがありました。

まず、7月に居住者が退去して空室となった笑恵館 202 号室に、あっという間に新入居者を迎えることができました。

NK さんは、コンセプトシェアハウスの紹介サイト「Colish (コリッシュ)」で笑恵館を見つけて下さったんですが、現在ふきの庭に長期宿泊している TH さんも Colish を見て来て下さったので、Colish 様様です。

また、ふきの庭倶楽部メンバーの YK さんからは、いよいよ自宅の住み開き利活用に向けてサポートして欲しいということで、フリーパートナー契約を結びました。

当初この仕組みは、初めて僕を雇う時の敷居を下げるために始めたんですが、次第にこれこそが僕の天職に思えてきたので、今後はどなたにでも遠慮なくお勧めしようかと思います。

そして、8/29(金)は久しぶりに休日モードにして映画「雪風 YUKIKAZE」を観てきたんですが、もう声を出して号泣、内容はお話しませんが超おススメです。

やはり映画は、我を忘れて没入できることが何よりだ、、と改めて痛感しました。

.....

### 2. 今週のお誘い

今週は、お誘いしたいめばしいイベントは有りません。

1. 9/2(火)は、緑内障の検診に朝から東邦大学 医療センター 大橋病院に行くので、ちょっと緊張しています。

緑内障とは 2016 年からの付き合いで、横浜から世田谷に引越した際に世田谷方面の眼科に転院したかったのですが、せっかくだから一度は大きな病院でしっかり診断してもらおうということになりました。

2. 9/3(水)は、ふきの庭古民家で庭いじり研究会を開催しますが、これほど暑いとあまりお誘いする気になれ

ません。

先日笑恵館で「蚊帳（かや）」を頂いたので、メゾンふきでお見せできます。

3. 9/5(金)午前は、被災地支援に取り組む NPO 法人 HOME-FOR-ALL の定例会なんですが、その日主要メンバーの妹島和世さんが NHK のあさイチに出演するらしく、一体どうなるのかミーハーワクワクしています。

4. その他のお誘い

上記の他、僕は火・木・土は世田谷の笑恵館・一宮庵・日楽庵を中心に、残りの水・金・日・月は、大田区のふきの庭を中心にカブ（原付バイク）でどこでも駆け付けますので、遠慮なくお誘い下さい。

上記以外の時間帯は、24 時間営業ですので、いつでも気軽にお問合せ下さい。

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

### 3. 実現ブログより：手段を選ぼう

辞書に「【手段（しゅだん）】 目的を達するためにその途上で使う方法。てだて。」とあるが、僕はこの「方法」を「何か(what)」と言い換えたい。

僕はかつて、自分が「結婚したい」と思ったから今のカミさんと結婚した。

だがもしもその時、いきなり誰かに「結婚してください」と言われたら、果たして僕は結婚するだろうか。もちろん僕が結婚できたのは、ちょうどその時カミさんも僕と結婚したいと思っていたから「いいよ」と言ってくれたはず。

僕だって、自分より先にカミさんから「結婚したい」と言われたら、即座に「しよう！」と答えたはずだ。同じ結婚なのに、相手によってその是非が変わるのは、結婚が「手段」であって「目的」や「方法」では無いからだ。

もしも、死ぬまで毎週結婚式をしたいなら、結婚は「方法」かもしれない。

だが、少なくとも僕にとっての結婚は、その後の生活を始めるための「手段（手続き若しくは儀式）」に過ぎなかった。

もちろんこの「手段（何か）」は大切だが、それは「目的と方法」を実現する懸け橋に過ぎないことを、今日はしっかり考えたい。

.

先ほど辞書に「途上で使う方法」とあったが、その行為が途上かゴールかを見分けるにはどうすれば良いのだろう。

ゴールとは「目的」のことなので、本人しか分からないし、本人ですらわかっていないかもしれない。

でも、行為を裁き裁かれるときは、行為をもたらし「目的（動機）」が問われるはず。

もしも車で人をひき殺してしまった時、それが「目的」であれば「殺人罪」だが、多くの場合は「殺人」を「目的」とせず、その他の行為「過失運転」または「危険運転」による「致死罪」に処される。

過失や危険はその行為に及ばなければ問題ないが、「殺人」は未遂やほう助だけでなく相手の同意があっても罪になる。

もしかすると、「殺人」という行為は、そこで終結することから「目的実現のための方法」とみなされるのかもしれない。

途上で使う「手段」とは、その先にある「目的（喜びや悲しみ）」があって初めて成立する「架け橋」のような行為なのだろう。

・

だとすると、「手段」は特別な行為であり、普段の行為こそが「方法」だ。

普段の状況に満足していれば、それは「目的」が実現している状態で、もしも不満ならそれが変化を求める「理由」となる。

不満な状況から満足できる状況へ、そんな変化をもたらす行為を「手段」と呼ぶのだろう。

こうした変化をもたらす「手段」が、やがて日常化して「方法」になることもある。

例えば、歯磨きと言う行為は口の中を掃除して不快を爽快に変える「手段」だが、その爽快感を維持するには歯磨きを繰り返す必要があり、やがてルーティン化すれば「方法」になるだろう。

繰り返す「手段」が「方法」となり、繰り返さない「手段」は消えていく、「手段」と「方法」はそんな関係にあるのかもしれない。

・

一方、「手段」と「目的」の関係はどうだろう。

もちろん「目的」のない「手段」はあり得ないはずなのだが、現実はそうではない。

先ほどの「過失」や「危険」のような「意図せぬ（目的の無い）行為」に満ち溢れ、これを生み出す「惰性」や「見栄」がまん延している。

もちろんそれは、「満足と惰性」や「不満足と見栄」が表裏一体・背中合わせのためだが、「手段」や「方法」と違い「目的」は本人にしか分かり得ないので、「自発」と「自戒」に頼らざるを得ない。

また、未来を善くするために、今を悪くする必要を感じて現状のあら捜しをしたり、これまでの後悔ばかりする人が多いけど、それでは好きなモノを後に残すため嫌いなモノから食べる人と変わらない。

今やってる「方法」のどれが間違いなのか、自分で見つけてくれないと、他人には絶対に分からない。

・

それが分かったら、必ず発表すること。

なぜなら、「目的と方法」は常にセットだから。

「目的」は自分にしか分からないけど、「方法」は誰の目にも明らかだ。

なので、「目的」を隠して「方法」だけ実行しても、それは「手段（架け橋）」になり得ない。

「目的」と「方法」は常に一致していることが前提なので、それを変えたければセットで変える必要があり、それを「手段」ということがよく分かった。

「目的(why)」と「方法(how)」は、中から見た自分と外から見た自分のこと。

この組み合わせに破たんが生じたなら、「手段(what)」という新たなセットを自分と世界に提示しよう。

続きは実現倶楽部で待ってるよ。

<https://nanoni.co.jp/250901-2/>

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

#### 4. 居場所・連絡先

松村拓也 メール [takuya@nanoni.co.jp](mailto:takuya@nanoni.co.jp)

携帯 090-9830-3669

## ■拠点

一宮庵 東京都世田谷区成城 6-22-7  
火曜 <https://ikkuan.com/>  
笑恵館 東京都世田谷区砧 6-27-19  
木・土曜 <http://shokeikan.com/>  
ふきの庭 東京都大田区東矢口 1-10-8  
上記以外 <http://fuki.land-resource.org/>

## ■主な所属法人:

取締役 (株)なのに <http://nanoni.co.jp/>  
取締役 (株)KITAKEN  
代表理事 (一社)日本土地資源協会 <http://land-resource.org/>  
監事 (一社)ワンフォーワン <https://oneforwan.org/>  
監事 (一財)八島花文化財団 <https://yatsushimahana.com/>  
監事 (特非)外浦の未来をつくる会 <https://www.facebook.com/sotouranomirai>  
監事 (特非)えん <https://www.act-en.org/>

## ■地主の学校・販売中

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>  
セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

## 5. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事などの情報をほぼ毎週お届けします。  
参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>